Impressa X90 取扱いマニュアル

ユラ　インプレッサ X90　ご使用に際して（重要事項）

本マニュアルは大切に保管してください。また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 定期点検
メインユニットは約一年でオーバーホールが必要です。年に一度販売代理店で定期点検を行ってください。

2. カルシウム除去
定期的にボイラーや配管のカルシウム詰まりを防ぐためカルシウム除去が必要です。
カルシウム除去剤を販売代理店でご購入いただきカルシウム除去を行ってください。

3. 毎日の洗浄
長くお使いいただくために洗浄タブレットによる洗浄を毎日行ってください。
毎日洗浄を行わなかった場合メインユニットの寿命が半分程度になる場合があります。
洗浄を行っていない場合の故障は保証外となりますのでご注意ください。洗浄剤は販売代理店でご購入ください。

4. 保証書
故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合
故障、定期点検の場合は販売代理店にご連絡ください。

安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為
⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて
●コンセントは、100V（ﾎﾞﾙﾄ）で機械一台あたり 15A(ｱﾝﾍﾟｱ）以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。
テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ / コードについて
●機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。
機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。
●機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。
機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。
お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について
●発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて
●延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。
電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コードや接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アース線について
●接続（アース）していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。**アース線は機械に付属品としてついています**。
●アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。
アース線は次の場所に接続しないでください。
①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口
アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください

日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止
●スチームノズルやコーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 注意：トラブルがあったときの処置
●機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると火傷や感電する恐れがあります。
●機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。
●機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
●ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。
ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止
●火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止
●機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止
●機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

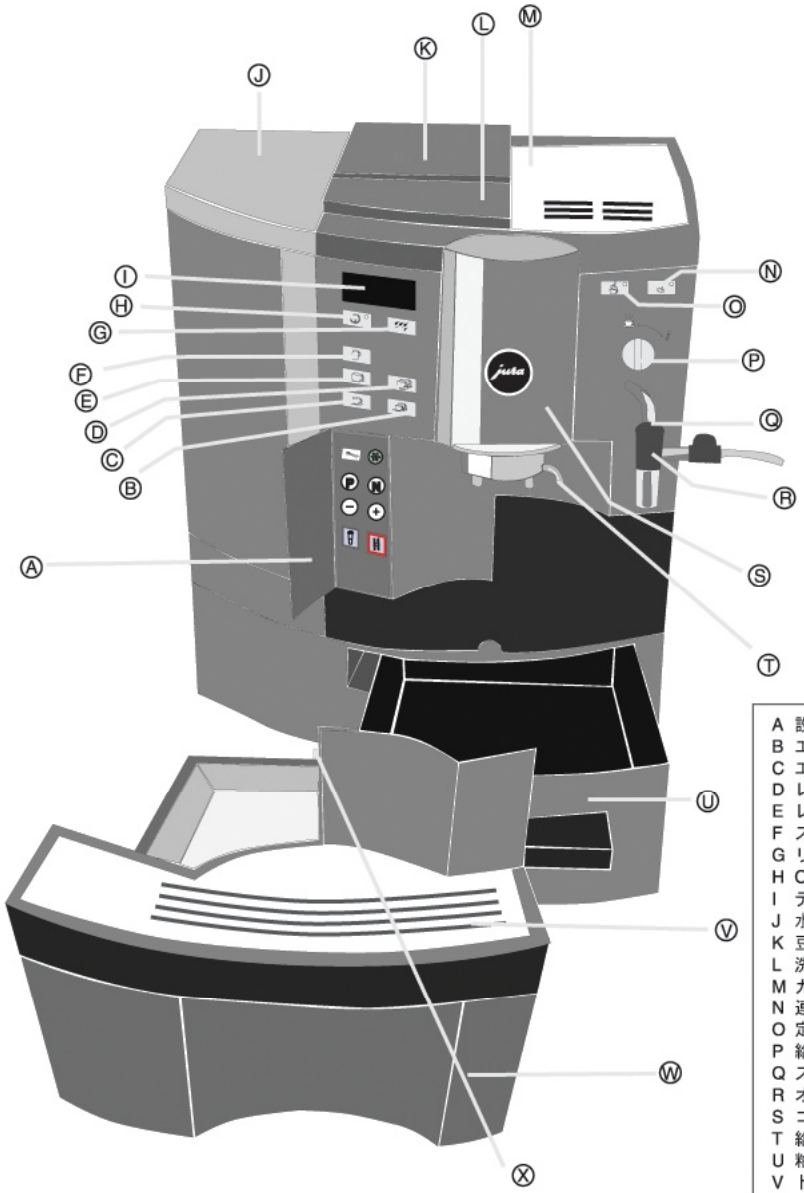
⚠ 注意：機械故障の防止
●機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。
●コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め
●定期的に下記の点検を必ず行ってください。
①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。
②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。
③アース線が正しく接続されていますか。

⚠ 注意：通電について
●夜間など長時間ご使用にならないときは必ず電源を切ってください。

Contrasto 株式会社コントラスト
東京都品川区戸越 5-14-17-201(〒 142-0041)
TEL03-3783-8899　FAX03-3783-6589
e-mail : info@contrasto.jp

インプレッサ　X90各部の名称（取り扱い説明書と併せてご覧ください。）



A 設定パネル
B エスプレッソ２杯取りボタン
C エスプレッソボタン
D レギュラー２杯取りボタン
E レギュラーボタン
F スペシャルコーヒーボタン
G リンスボタン
H ON/OFF スイッチ
I ディスプレイ
J 水タンク
K 豆ホッパーカバー
L 洗浄剤投入口
M カップウォーマー
N 連続スチームボタン
O 定量スチームボタン
P 給湯ノブ
Q スチームノズル
R オートカプチーノ
S コーヒー抽出口
T 給湯口
U 粕ケース
V トレイパネル
W ドリップトレイ
X 電極

主なディスプレイ表示と意味

PLEASE WAIT	しばらくお待ちください。
COFFEE READY	抽出可能です。
RINSE UNIT	リンスしてください。
FILL SYSTEM	内部に水がありません。 スチームボタンを押して給水してください。
FILL WATER	水を入れてください。
FILL BEANS	豆を入れてください。
EMPTY GROUNDS	粕ケースを空にしてください。
TRAY MISSING	ドリップトレイが入ってません。
EMPTY TRAY	ドリップトレイを空にしてください。
OPEN TAP	給湯ノブを開けてください。
CLOSE TAP	給湯ノブを閉じてください。
CLEAN UNIT	洗浄を行ってください。
UNIT DECALCIFYING	カルシウム除去を行ってください。
MALFUNC.2	寒冷地等で内部温度が異常低温となったときに表示されます。内部が室温と同等になるまで待ってください。
MALFUNC.8	起動不良です。至急販売代理店にご連絡ください。緊急措置としては、電源を切り電源プラグを抜いて１０秒後電源プラグを差し電源スイッチを入れてください。しばらく使用できる場合があります。

ユラ　インプレッサX90 取り扱い説明書-1（各部の名称と併せてご覧ください。）

（1）基本操作

①電源投入
電源コードを100V15アンペアの電気容量を確保された単独ブレーカーよりのコンセントに差し込みます。※注意　必ず本機単独でご使用ください。
水タンクに水を入れ、豆ホッパーに豆を入れます。
※注意　お湯、ミネラルウォーター、電解水等は使用しないでください。
ON/OFFスイッチ(H)を押します。

②ウォーミングアップ
ディスプレイ(I)にPLEASE WAITの文字が表示されます。

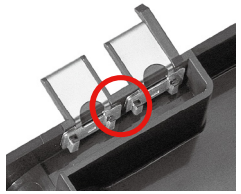
③リンス
数分でディスプレイ(I)にRINSE UNITの文字が表示されます。
リンスボタン(G)を押し、リンスを行います。
表示がSELECT PRODUCTに変り抽出可能となります。

④コーヒー（一杯取り）の抽出
(C)(E)(F)のメニューボタンのいずれかを押しコーヒーを抽出します。
このときコーヒーカップは２本のコーヒー抽出口の中心に置いてください。

⑤コーヒー（２杯取り）の抽出
(B)(D)いずれかを押し、２本のコーヒー抽出口それぞれのコーヒーが注がれるようにカップを並べて置きます。

⑥排水とコーヒー粕の捨て方
３０～４０杯の抽出でEMPTY GROUND（粕ケースを空にしてください。）が表示されます。
ドリップトレイ(W)を手前に軽く持ち上げるように引きだします。
この時ドリップトレイに貯まった排水も捨ててください。
粕ケース(U)を引きだし中に貯まった粕を捨てます。
ドリップトレイと粕ケースを水で簡単にすすぎ、元どおりセットしてください。

※ドリップトレイ後端の電極部（下図）は歯ブラシなどを使い念入りに清掃してください。特に円中。



排水が一杯になりますとEMPTY TRAYの表示が出ますのでドリップトレイに貯まった排水を捨ててください。※この時も電極を清掃してください。

（2）オートカプチーノ使用方法

①牛乳のセット
オートカプチーノからのびているチューブを牛乳紙パックまたは容器に移した牛乳に差し込みます。

②スチームボイラーの水抜き
まず、スチームボイラー内に余分な水が溜まっていますので空出しによって取り除きます。
※連続使用の場合必要ありません。

●牛乳調整ノブ(c)を閉じて牛乳を吸い込まないようにします。（※写真は閉じた状態です。）
●定量スチームボタン(a)をおしてスチームのみの空出しをします。
これでボイラー内の余分な水分は抜けました。

③ミルクフォームの抽出
牛乳調整ノブ(c)を（ア）または（イ）の位置にあわせ、カプチーノカップまたはミルクピッチャーをスチーム出口の下に構え、定量スチームボタン(a)または連続スチームボタン(b)を押します。
定量スチームボタンはあらかじめ設定された量のフォームドミルクを供給し、連続スチームボタンはもう一度押されるまで連続して供給し続けます。
※どちらのボタンも再度押すことで中断されます。
※しばらく使わない場合は水を吸わせるなどして洗浄してください。

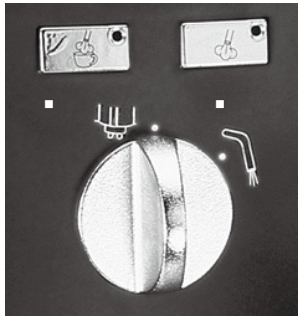
④泡立ちと温度の調整
（ア）の位置にレバーを倒すと泡立つミルクになります。+−で温度調整ができます。
（イ）の位置にレバーを倒すと泡立ちのないミルクになります。+−で温度調整ができます。

（ア）

（イ）

（３）給湯

給湯ノブ(P)を右に回すとあらかじめ設定した量のお湯が給湯口から出ます。
途中で止める場合は給湯ノブをもとに戻してください。

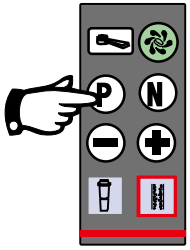


ユラ　インプレッサX90 取り扱い説明書-2（各部の名称と併せてご覧ください。）

（4）メニュー設定

コーヒーメニューの設定

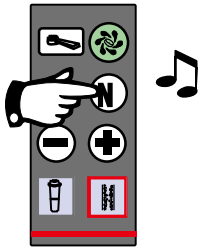
図のようにプログラムキーをピッと音がするまで長押しします。



ディスプレイにPOWDER QUANTITYと表示され、設定メニューに入ります。

①コーヒー濃度の調整

POWDER QUANTITYと表示された状態でコーヒーの濃度を調整したいメニューボタン(C)(E)(F)のいずれかを押します。
※(B)(D)の２杯取りボタンは一杯取りメニューに準じ自動設定されます。
ディスプレイが目盛りの表示になり＋－のキーで濃さを調整します。
＋キーを押すとカーソルが右に動きコーヒーは濃くなります。－キーを押すとカーソルが左に動き薄くなります。
※注意　(C)(E) のメニューでは２杯取りボタンと連動していますので、カーソルが中心より右側にあると２杯取りが薄くなってしまいます。
２杯取りご使用の場合は中心が最大限となります。
カーソル位置が決まりましたらプログラムキーを軽く押します。ピッと音が鳴れば設定完了です。
このまま続けて他のメニューの設定も可能です。
メニュー設定を終了する場合はNマークの終了キーを軽くおします。
※注意　Nキーを長く押さないでください。設定が工場出荷時に戻ってしまいます。



②コーヒー温度の調整

プログラムキーを長押しし設定メニューに入ります。
表示がPOWDER QUANTITYになっていますので＋キーを一回押してTEMP.COFFEEに変えます。
温度を調整したいメニューボタン(C)(E)(F)のいずれかを押します。
TEMP.NORMAL またはTEMP.HIGHと表示されますので＋キーを押していずれかを選びます。
設定が決まりましたらPキーを押して決定し、Nキーで終了します。

③コーヒー抽出量の設定

メニュー設定に入り＋キーを２回押してWATER QUANTITYを表示させます。
コーヒーカップをコーヒー抽出口の下にセットします。
コーヒーの抽出量を調整したいメニューボタン(C)(E)(F)のいずれかを押します。
コーヒーが実際に抽出されますので、希望の分量に達したらPキーを押して抽出を止めます。
この時ディスプレイに目盛が表示されます。
＋キー－キーを押すことによって微調整が可能です。（一回押すごとに約５cc）
設定できましたらPキーで決定しNキーで終了します。
※２杯取りメニューは自動設定されます。

④定量スチームの設定

メニュー設定に入り＋キーを３回押しSTEAM PORTIONを表示させます。
Pキーを軽く一回押してください。
PORTION __SEC.と表示されますので＋キーあるいは－キーを使って秒数を変えます。
決まりましたらPキーを押して決定します。
Nキーで終了します。

⑤給湯量の設定

メニュー設定に入り＋キーを４回押してTEA PORTIONを表示させます。
Pキーを一回押します。
OPEN TAPと表示が変わります。
湯量を合わせたいカップを給湯口の下に置き、給湯ノブを右へ回します。
湯量が適量となりましたら、ノブを戻します。
これで設定終了です。
Nキーで終了します。

⑥その他の設定

FILTER；
日本国内では使用できません。

WATER HARDNESS；
付属のWelcome Packに入っているAQUADUR（水質試験紙）を使って使用水道の硬度を測ります。
試験紙を袋からとりだし一秒水に浸します。
水を切り一分間待ちます。余白部分を右にし、色の変わった部分を左から0,1,2,3,4,5と読みます。
この数字で設定してください。
※カルシウム除去の周期に関する設定です。

ECONOMY MODE；
ONにするとスチームボイラーのプレヒーティングを行いません。

TIMER CLOCK;時刻設定

AUTOMATIC SWITCH ON TIME;
自動電源ONを設定できます。

AUTOMATIC SWITCH OFF TIME;
自動電源OFFを設定できます。

SUPPLIES AND CUP COUNTER;
累積抽出数を表示
メンテナンス用でリセットはできません。

LANGUAGE SELECTION;
使用言語を設定。日本語はありません。

ユラ　インプレッサX90 取り扱い説明書-3（各部の名称と併せてご覧ください。）

（5）ディスプレイ表示と意味

①FILL WATER　　水を入れてください。

②FILL BEANS　　豆を入れてください。

③EMPTY GROUNDS　　粕ケースを空にしてください。

④TRAY MISSING　　ドリップトレイが入ってません。

⑤EMPTY TRAY　　ドリップトレイを空にしてください。

⑥CLEAN UNIT　　洗浄を行ってください。

⑥’CLEAN NOW　　すぐに洗浄を行ってください。

⑦UNIT DECALCIFYINGまたはUNIT CAL.FIED
カルシウム除去を行ってください。

⑧MALFUNC.2　　寒冷地等で内部温度が異常低温となったときに表示されます。
内部が室温と同等になるまで待ってください。

⑨MALFUNC.8　　起動不良です。至急販売代理店にご連絡ください。緊急措置としては、電源を切り電源プラグを抜いて１０秒後電源プラグを差し電源スイッチを入れてください。しばらく使用できる場合があります。

（6）トラブルと対策

①使用中電源が落ちてしまう。
●電気容量が不足しています。
電気工事店にご相談ください。
●他の機器のノイズを拾っています。
原因になりそうな機器を遠ざけてください。
上記の症状を放置すると基盤などの重要部品が故障する恐れがありますのでご注意下さい。

②豆が入っているのにFILL BEANSが表示されて抽出できない。
●初めてのご使用の場合はもう一度抽出ボタンを押してみてください。
●それ以外の場合は豆ホッパーに異物が入った可能性があります。
至急販売代理店に連絡してください。

③FILL SYSTEMと表示される。
内部に水がありません
●初めてのご使用の場合はスチームボタンを押してください。
●水タンクの下に異物が挟まっていないかご確認下さい。
●水タンク内のネットフィルターにごみが溜まっていないかご確認下さい。

④水があるのにFILL WATERと表示されて抽出できない。
●水タンク内の水位関知部品が外れてませんか？
黒いプラスチック部品が取れてしまっている場合はタンク内の小部屋に収め透明なプラスチックカバーをしてください。
●水タンクが汚れていませんか
水タンク内は常に清潔にしてください。

⑤ミルクフォームがぬるい
⑥ミルクフォームが泡立たない
●いずれの原因もオートカプチーノの汚れです。
別紙カプチネーターの清掃にしたがって清掃してください。

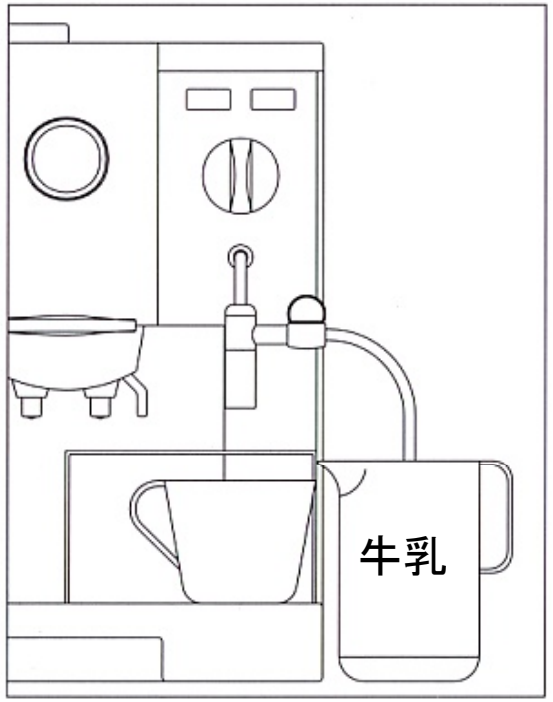
⑦TRAY MISSINGまたはEMPTY TRAYがディスプレイに表示されて動かない。
●ドリップトレイの電極を中性洗剤で洗浄し、乾いた布で水気を拭き取って再度ドリップトレイをセットしてみてください。

重要！

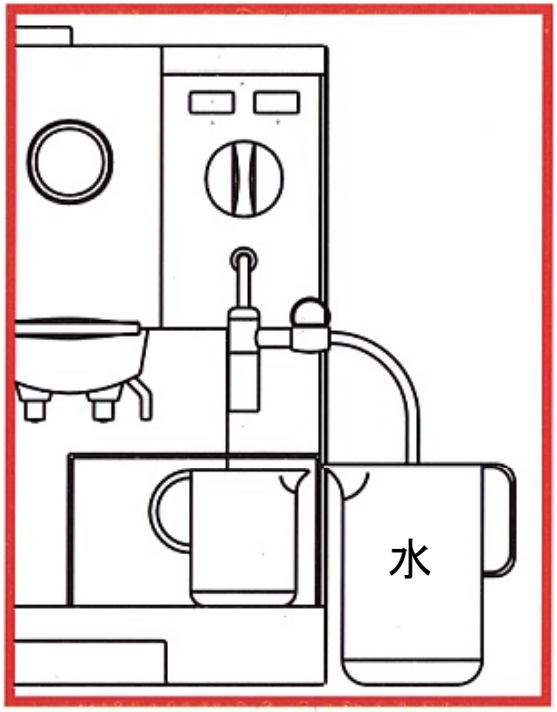
オートカプチネーターを使用した後は下図のように洗浄を行って下さい。

IMPRESSA

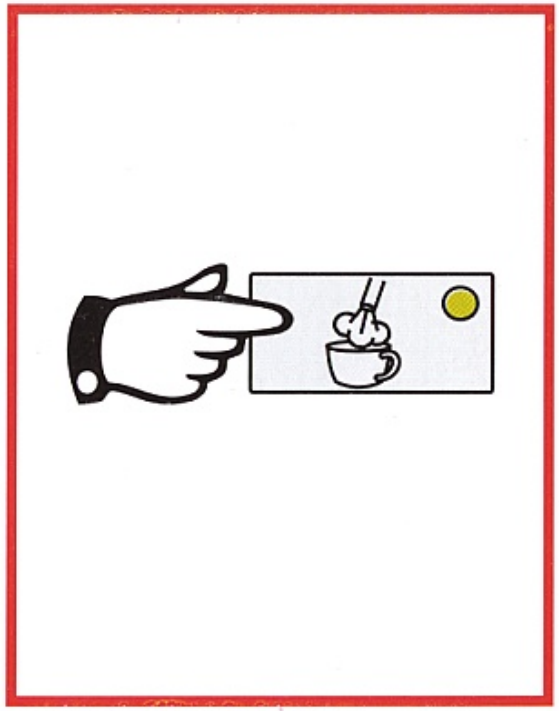
カプチネーターの使用



吸入ホースの先をカップに入れた水に差し込む



自動スチームボタンを押す



Art. Nr. 63259-05/01

オートカプチーノの洗浄

①250cc（ｽﾃﾝﾚｽｶｯﾌﾟの半分位）のぬるま湯に対し5%（12.5cc/付属の計量ｶｯﾌﾟ使用）のラテ・ウォッシュ（注*1）をよく溶かして洗浄液を作り、ミルクチューブの先を浸します。
オートカプチネーターの下には空の容器を置きます。

②連続スチームボタンを押しランプが点滅から点灯に変わったらもう一度同じボタンを押します。

③洗浄液がミルクチューブを通って吸い上げられ、オートカプチネーター内部を洗浄した後、空の容器にはきだされます。洗浄液がなくなったら、再度連続スチームボタンを押して吸い上げを終了します。

④今度はカップにきれいなぬるま湯を1杯注ぎ、その中にミルクチューブの先を浸し、オートカプチネーターの下には空の容器を置きます。
連続スチームボタンを押してチューブ内に残った洗剤をすすぎます。

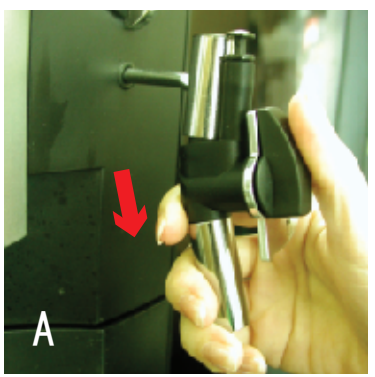
（注*1）

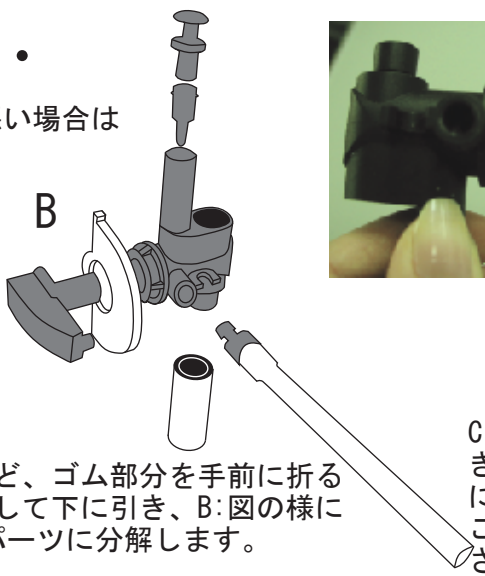
まぜるな危険！換気注意
塩素系洗浄剤：酸性製品と混ぜると有害ガスが発生。

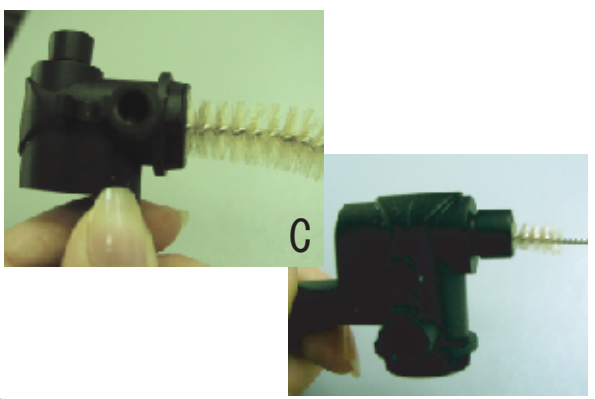
（ラテウォッシュは販売代理店または㈱コントラストにご注文ください。）
1本（1.8kg）で4～5ヶ月お使いいただけます。

汚れのひどい時・・・

上記①～④の手順を踏んでもミルクの出が悪い場合は以下をお試し下さい。







A:中ほど、ゴム部分を手前に折るようにして下に引き、B:図の様に7点のパーツに分解します。

C:分解したパーツを洗剤でつけおき洗いし、汚れのひどい部分、特にミルクの通る箇所はブラシ等でこすり洗いした後よく洗い流し下さい。

インプレッサ X90 洗浄マニュアル（毎日行ってください。）

IMPRESSA

洗浄タブレットを使用しての洗浄プログラムを毎日行ってください。
また、下記の表示が出た場合も行ってください。

CLEAN UNIT
COFFEE READY

プログラム終了後は通常通り抽出可能となります。

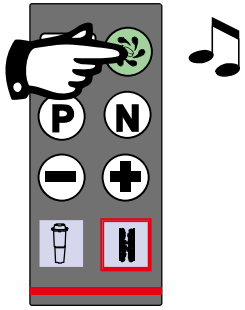
洗浄は約１５分かかります。

この作業は中断できません。

① 電源を入れます。

（H）

② 本体前面の扉を開け、右上のグリーンのボタンをピッと音がするまで長押しします。



③ EMPTY TRAY

トレイと粕ケースを抜き出し、カスと排水を捨ててください。
１０秒以上間を置いてから本体に戻してください。

④ 水タンクにきれいな水を入れ本体にセットしてください。

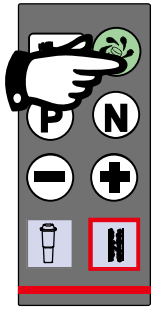
⑤ ADD TABLET

本体上部手前の黒いフタを開け、クリーニングタブレットを一粒投入してください。

クリーニングタブレットは販売代理店または（株）コントラストにご注文ください。

⑥ PRESS CLEANING

もう一度グリーンのボタンを押してください。



⑦ UNIT CLEANING
PLEASE WAIT

ここから終了まで約１３分です。

⑧ EMPTY TRAY

トレーと粕ケースを再び取り出し溜まった排水を捨て、本体にセットしてください。

⑨ PLEASE WAIT

ここから終了まで約２分です。

⑩ RINSE UNIT

（G）

リンスボタンを押します。

⑪ COFFEE READY

洗浄は終了しました。
再びコーヒーが抽出できます。

インプレッサX90カルシウム除去マニュアル

IMPRESSA X90

以下のようなサインが出たらカルシウム除去が必要です。

UNIT
CAL · FIED

COFFEE
READY

コーヒ抽出やお湯の供給はできますが、出来るだけ速やかにカルシウム除去を行って下さい。

カルシウム除去は約５０分掛かります。

この作業は中断できません。

①

機械の電源スイッチをoffに

（H）

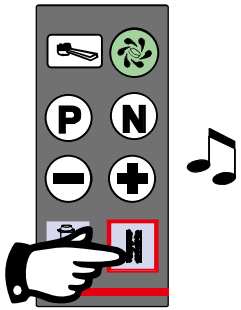
マシン内部が完全に冷えるまで数時間待ちます。

②

マシンが冷えたら水タンクを本体から引き抜き、残った水を捨ててください。

③

本体前面扉の裏の操作パネルで下記右下のカルシウム除去スイッチをピッと音が鳴るまで長押しします。



④

EMPTY
TRAY

トレイを抜きだし、貯まった水や粕を捨て十秒以上の間隔を置いて再び差し込みます。

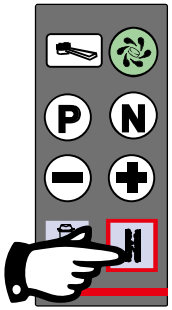
⑤

AGENT
IN TANK

OPEN
TAP

PRESS
CALC

カルシウム除去剤３錠と正確に６００ccの水を水タンクに入れます。カルシウム除去剤が発泡しながら解け出します。
再び水タンクを本体にセットし、完全に薬品が溶けたのを確認しカルシウム除去スイッチを押します。

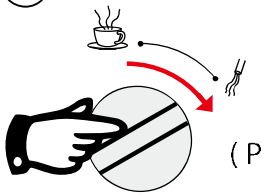


必ずJURA社純正のカルシウム除去剤をお使いください。
市販品のご使用は保証を受けられません。

⑥

カプチネーターを取り外し、ステンレスカップまたは大振りのカップをノズルの下に置きます。

⑦ 給湯側に切り替えます。

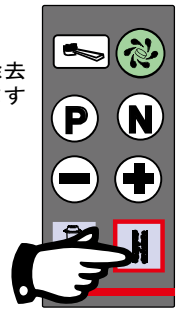


（P）

この作業は１０分間掛かります。

⑧

再びカルシウム除去スイッチを押します



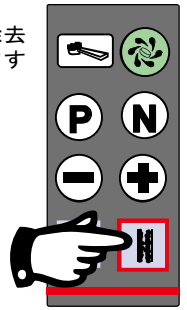
⑨

警告音が鳴りますので、給湯ノズルの下に容器を移動してください。

⑩

PRESS
CALC

再びカルシウム除去スイッチを押します



この作業に約６分間かかります。

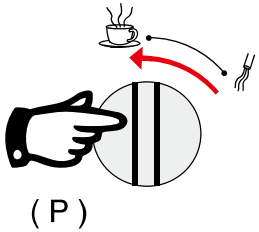
インプレッサX90カルシウム除去マニュアルすすぎ編

IMPRESSA　X90

⑪

CLOSE
TAP

コーヒー抽出側に切り替えます。



ここからの操作はマシーン内部に残ったカルシウム除去剤をドリップトレイにすすぎ落とします。

この作業は約４０分かかります。

⑫

EMPTY
TRAY

トレーを取り出し水を捨てます。水タンクもよく洗い、きれいな水で満たし再びセットします。

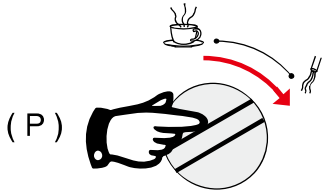
⑬

スチームノズルの下にステンレスカップを置きます。

⑭

OPEN
TAP

給湯側に切り替えます。



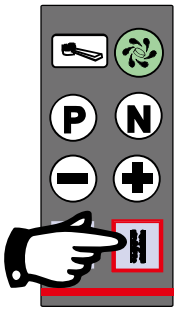
⑮

PRESS
CALC

給湯ノズルの下にカップを移動します。

⑯

カルシウム除去スイッチを押します。

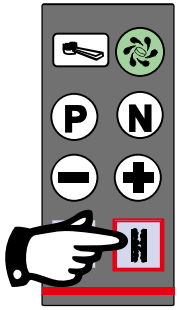


この作業は約１分かかります。

⑰

PRESS
CALC

カルシウム除去スイッチを押します。

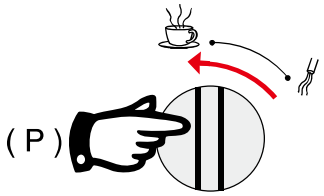


この作業は約１分かかります。

⑱

CLOSE
TAP

コーヒー抽出側に切り替えます。



この作業は約１分かかります。

⑲

UNIT
DECALCIFYING

PLEASE
WAIT

マシーン内部の水をドリップトレイに落とします。

この作業は約１分かかります。

⑳

EMPTY
TRAY

CLEAN
CONTACTS

ドリップトレイを引きだし、清掃を行ってください。
この時、後ろ側の電極部も念入りに清掃してください。

㉑

RINSE
UNIT

リンスを行ってください。

㉒

UNIT
RINSING

COFFEE
READY

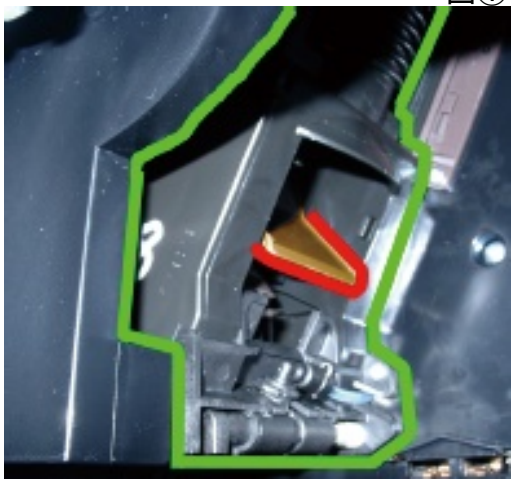
カルシウム除去プログラムの完了です。

毎日の洗浄の前とコーヒーの出が悪い時行って下さい。

（抽出ユニット内のフィルターに
付着したコーヒー粉汚れをふき取る。

まずリンスを行います。
ドリップトレーを外します。
本体内部を斜め下から覗いて下さい。
図①のように抽出ユニットがみえます。
（緑で囲んである部分）
フィルターは抽出ユニットの
「斜めになった茶色の板（赤囲み）」の
上奥にあります。

図①



図②のように茶色の板を指で伝って
上のほうへ向かうと
丸く平らな金属フィルター
にさわれます。
（真ん中がネジ止めされている為
へこみが有ります）
それに付着したコーヒーの粉を
キッチンペーパー/布巾等で
拭き取ってください。
綺麗に拭き取ったら
再びリンスボタンをおして
すすぎをして下さい。

図②

抽出口の片側だけ出が悪い時

抽出口の片側内部にコーヒーの汚れが溜まって
抽出口が詰まっているのが原因です。

詰まっている側の抽出口を
図③のように、つまようじのような細いもので
下から優しくつついてみて下さい。
何度かつついたら、リンスボタン
（電源ボタン右横の水滴マーク）
を押してください。
抽出口からの出が良くなりましたら
続けて洗浄タブレットを使った
毎日の洗浄を行ってください。

上記を試してみても出がよくならない場合は、
抽出口内部で汚れが固まってしまっている
可能性が考えられます。
洗浄不足が原因です。
この場合修理が必要となります。

抽出口の詰まりを防ぐ基本は
＊洗浄タブレットを使用した毎日の洗浄と
＊出口、及び周辺の汚れを綺麗に清掃する事です。

図③